

軍艦ファンの

深い

話

ちよつと

Hashimoto Kenji

橋本 健二

青山ライフ出版

目次

はじめに	10
第1章 軍艦ファン	12
軍艦から戦史の興味へ	12
軍艦を見たい	13
日本海軍の艦艇の美しさ(総論)	14
日本海軍の艦艇の美しさ(各論)	16
残された写真1〜3	18
軍艦のネーミング1〜4	22
余談・菊の御紋章	27
空母の話1〜3	27

第2章 海軍の艦艇は役に立ったか…………… 34

空母は役に立ったか (総論) …………… 34

空母は役に立ったか (各論) …………… 37

戦艦は役に立ったか …………… 40

巡洋艦は役に立ったか (総論) …………… 43

巡洋艦は役に立ったか (各論) …………… 45

駆逐艦は役に立ったか (総論) …………… 47

駆逐艦は役に立ったか (各論) …………… 50

潜水艦は役に立ったか …………… 52

役に立った特務艦 …………… 55

第3章 日米の秘密兵器…………… 58

日本の秘密兵器1 93式酸素魚雷 …………… 58

日本の秘密兵器2 特殊潜航艇 (甲標的) …………… 59

日本の秘密兵器3	潜水空母伊400型潜水艦	61
日本の秘密兵器4	世界最大の戦艦「大和」	62
日本の秘密兵器5	零式艦上戦闘機	65
日本の秘密兵器6	超重爆撃機「富嶽」	67
米国の秘密兵器1	レーダーの登場	70
米国の秘密兵器2	V T信管 (variable time fuze)	71
米国の秘密兵器3	ボーイングB29戦略爆撃機	72
米国の秘密兵器4	ノースアメリカンP51マスターング戦闘機	73
第4章 日本の軍用機		
海軍の戦闘機		76
陸軍の戦闘機		80
日本の大型機1		84
日本の大型機2		88
余談・飛行機の主翼の話		90

第5章 太平洋戦争の主な海戦…………… 94

ハワイ作戦（真珠湾攻撃） 1	94
ハワイ作戦 2	96
ハワイ作戦 3	98
マレー沖海戦	99
インド洋作戦	100
空母「ホーネット」による日本本土初空襲	101
珊瑚海海戦	104
ミッドウェイ海戦 1	105
ミッドウェイ海戦 2	107
南太平洋海戦	108
第一次～三次ソロモン海戦	110
マリアナ沖海戦	111
レイテ沖海戦 1	113
レイテ沖海戦 2	115

第6章 イフの世界……………118

- 1 もし、真珠湾攻撃で米空母「レキシントン」と「エンタープライズ」を撃沈していたら? ……118
- 2 もし、ミッドウェイ海戦で「赤城」「加賀」「蒼龍」の3空母被弾前に攻撃隊を発進出来ていたら? ……120
- 3 もし、第三次ソロモン海戦に戦艦「大和」が登場していたら? ……122
- 4 もし、戦艦「大和」以下の艦隊がレイテ湾に突入していたら? ……124
- 5 もし、私が「機動部隊」の編成を任されたら? ……126

第7章 海軍の人物像……………132

- 山本五十六 (海兵32期) ……132
- 米内光政 (海兵29期) ……135
- 井上成美 (海兵37期) ……135
- 山口多聞 (海兵40期) ……139

角田寛治	(海兵39期)	139
小沢治三郎	(海兵37期)	142

第8章 開戦への道……………146

歴史的経緯 1	147
歴史的経緯 2	150
歴史的経緯 3	152
歴史的経緯 4	156
開戦 1	157
開戦 2	160

第9章 敗戦への道……………166

戦争の転換点	167
--------	-----

太平洋の島嶼戦	173
情報の軽視	178
東條英機暗殺計画	182
資源ロジスティクスの崩壊	189
1 兵站・補給	189
2 資源ロジスティクス	191
3 開戦時の石油需給・船舶需給の見通し	193
4 1941年12月(開戦)～43年8月	195
5 1943年9月～44年8月	197
6 潜水艦の進歩	201
7 1944年9月～45年8月	203
敗戦1	207
敗戦2	209
敗戦3	212

第10章 日本の防衛…………… 216

日本の競争力…………… 216

防衛は可能か…………… 218

日米安保条約…………… 220

今後の防衛力整備…………… 223

対テロ戦闘組織…………… 229

あとがき…………… 231

はじめに

私の父は、太平洋戦争開戦直前の1940年に当時の大阪帝国大学医学部を卒業すると同時に海軍の短期現役士官に志願して軍医中尉に任官、開戦時は南遣艦隊に属して南部弘印（現在のベトナム）のサイゴンにいたようだ。子供の頃、断片的ながら父から日本海軍にまつわる様々な話を聞いたり当時のアルバムを見せて貰っていた。

乗艦していた艦は、練習巡洋艦の「鹿島」「香椎」、軽巡洋艦「夕張」や3本煙突の旧式な5千トン級軽巡などで派手さはないが、軍艦内での生活の話をお聴くのは楽しかった。横須賀から飛行艇でトラック島に行った際に停泊中の戦艦「大和」での会議に出たこと、1943年のキスカ島撤退作戦に参加したが、マラリアを発症して作戦根拠地の幌筵島（ほろむしろとう）で唸っていた話などもワクワクして聴いていた。

一方、アルバムには開戦前に広島島の呉軍港で、真珠湾攻撃時の特殊潜航艇隊の隊長だった岩佐直治大尉と撮った1枚もあった。当時、岩佐大尉は「今に皆が驚く様な事をやりますよ」と語っていたとの事。

はじめに

こんな経緯から私は俄然海軍や軍艦に興味を持つ様になり、戦記雑誌「丸」を愛読する様な少年になって行った。これから私の軍艦ファンとしての想いを綴って行きたい。こうした文章の性格上、独りよがりの話も多いが、どうかお許しを頂きたい。皆さんに少しでも興味と共感を持って読んで頂けたら幸いである。